

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立信夫第一小学校長

平成31年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数の2教科を実施しました。

昨年度までは、「国語A」、「算数A」（主に知識に関する問題）と「国語B」、「算数B」（主に活用に関する問題）に分けて実施してきましたが、今年度より、それらが1つにまとまった調査を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、並びに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、御理解と御協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることを御理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	63.8%	○				
算数	66.6%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	72.3%	○				
書くこと	54.5%	○				
読むこと	81.7%					○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	53.5%	○				

【考 察】

- 「話すこと・聞くこと」においては、話し手の意図を正確に聞き取り、質問することに課題が見られました。授業においては、目的に応じた質問をしたり、自分の考えを話す機会を増やしたりしていきます。また、学校生活においても、聞いた話の内容を復唱して確かめたり、要約したりする機会を設けるようにしていきます。
- 「書くこと」においては、目的や理由を明確にして、調べたことを報告する文章を書くことに課題がみられました。自分の考えを伝えるためには、「目的」「内容や方法」そして「結果」の順番で書いたり、目的に合わせた資料を使用したりすることが大切ですので、授業においても積極的に取り入れていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	63.2%	○				
量と測定	52.9%	○				
図 形	76.7%	○				
数量関係	68.3%	○				

【考 察】

- 「数と計算」領域では、面積を求める方法を説明したり、四則計算において数字を変えても計算が成り立つことを説明したりする問題に課題が見られました。筋道を立てて考えたり、説明したりする活動を多く取り入れていきます。
- 「図形」領域では、性質や構成要素から図形を見つけることに課題が見られました。5年生までに学習した「図形」の性質の理解が定着するように、家庭学習を中心に復習の機会を設けていきます。